

栄養茨城

FLASH No.21

発行日／令和5年3月20日

発行所／公益社団法人 茨城県栄養士会

〒310-0034 水戸市緑町3-5-35

TEL：029-228-1089 FAX：029-228-4271

http://www.ibarakiken-eiyoushikai.or.jp/

CONTENTS

会長あいさつ・入会のすすめ	P1
受賞おめでとう	P2
私たちの職場紹介 (研究教育・公衆衛生・勤労者支援)	P3-5
茨城県内の認定栄養ケア・ステーション	P6
研修会報告	P7
事務局長就任挨拶・新入職員紹介・ 賛助会員活動一覧・連盟活動状況・編集後記	P8



2023年 新年をむかえて

公益社団法人茨城県栄養士会会長 入江 三弥子

コロナ禍の影響が続く中、新しい生活ルール対応や食材料の高騰等次から次へと続く難題に奮闘しておられる事に敬意を表します。本会はこれまで会員の資質向上を図る事に力を注いできました。日本栄養士会では、認定管理栄養士並びに認定栄養士制度推進を図って養成に力を入れています。新しい知見を求めて専門性を維持・向上させる事は必要な事です。一方、他医療職種や他団体と連携し情報共有や連携事業への参加を求められ、多様化する課題に対応する姿勢を求められています。栄養士会への期待が高まっています。今までの栄養学は食品の食べる量と食べ方の研究が主流で、人々の食生活の変化や体重をはじめ検査値や体調の変化によってその効果を見てきました。私達は栄養指導が主な仕事でした。しかし、今世界では、戦争や気候変動を発端に農作物の不足や放射能汚

染等食料不足による飢餓の恐れが語られ始めています。そして、食料の値上げが私達の食生活を直撃し始めています。個人の食生活改善にとどまらず、社会の栄養問題の解決にもリーダーシップを発揮すべき時です。

さて、我県は生活習慣病による死亡率が全国に比べて高く、塩分の摂取量も全国平均より多い現状です。個人が減塩を意識すると同時に、減塩を意識した食品を企業が開発する等、無関心層が自然に健康を維持できる環境が必要と考えています。また、子供たちへの食育を充実させ健康と栄養のつながりをしっかり伝えることが必要です。環境にも福祉にも栄養が関係しています。社会の動きの変化を見ながら食事提供と人の食生活の課題に対応し、できる限り栄養バランスの良い食生活を維持できるよう、関連する人々と手を携えて専門性を発揮し、人生100年時代を無事迎えたいと思います。

～入会のすすめ～

栄養士・管理栄養士として仕事に必要なのは、新しい情報、信頼できる先輩、そして仲間です。栄養士会に入会しますと下記のような特典があります。

1. 「日本栄養士会雑誌」を毎月お届けします。
いち早く、最新の情報を知ることができます
2. スキルアップのため各種講演会・研修会を会員割引で参加できます。オンラインでの受講も可能です。また、日本栄養士会の「生涯教育制度」の単位認定も行っています。

3. 日々の業務には重い責任が伴う場合があります。
万が一に備えて、最大1億円の「栄養士賠償保険」に加入できます。
4. 職域や地域の仲間との交流の輪が広がります。
5. 皆さんの就職・転職サポート。(無料職業紹介所開設)
新人栄養士が配属されるこれからの時期、栄養士会入会の勧誘にご理解とご協力をお願いいたします。お隣の未入会の同僚の方へも是非おすすめください。

(文責：伊藤 久美子)



受賞おめでとう



永年の栄養士活動が認められ、令和四年度表彰された方々をお知らせします。(称略)



栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰受賞者

●栄養改善事業功労者

鯉淵学園農業栄養専門学校

若林陽子

茨城県知事感謝状受賞者

●第十一回定時総会

医療（守谷市）

医療（八千代町）

地域活動（つくば市）

医療法人博順会

介護老人保健施設 博純苑

勤労者支援（水戸市）

齋藤幸子

中山俊子

鈴木美恵子

坂本芳美

鈴木裕子

●県民健康づくり表彰式

医療（牛久市）

松籟荘サテライト安良川別館

浅沼一美

金澤郁子

茨城キリスト教大学

生活科学部食物健康科学科

石川祐一



茨城県保健医療部長感謝状受賞者

●第十一回定時総会

地域活動（牛久市）

北茨城市立関本保育所

みらい平クリニック

石下保育園

後藤和子

山口則子

吉見泉

中瀧和子

●健康づくり表彰式

常総学院中学校・高等学校

高萩協同病院

石岡第一病院

協和南病院

尚恵厚生園

社会福祉法人

ふたば会筑波エコー学園

根本綾子

渡邊美穂

石塚洋子

須藤泰子

栗山明美

羽田英子





Yakult

**生きて腸にとどく
乳酸菌 シロタ株**

[65ml] [65ml]

水戸ヤクルト販売株式会社 古河ヤクルト販売株式会社
 いわきヤクルト販売株式会社 千葉県ヤクルト販売株式会社

[商品に関するお問い合わせ] ヤクルトお客さま相談センター
 イイ ヤクルト

☎0120-11-8960 携帯電話からは ☎0570-00-8960 (有料)へ
受付時間 10:00~16:00 (土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く) ※時間を短縮しております。



私たちの職場紹介

= 研究教育編 =

鯉淵学園学園農業栄養専門学校 食品栄養科
食品栄養科 副科長 浅津 竜子 さん

【学校紹介】

本校は、「タネまきから食卓まで」が学べる専門学校（2年制課程）で、アグリビジネス科と食品栄養科



（栄養士養成課程・1学年定員40名）があります。水戸市の外れに位置しており、最寄り駅はJR友部駅です。昭和20年に農業者育成機関として創設され、農業者や農村を支える人材の育成から始まり、食生活改善や栄養改善ができる「生活改良普及員」の育成も昭和28年度から平成15年度まで55年間おこなってきました。生活改良普及員資格を得た卒業生は約620名おり、日本各地の農村で食生活改善活動を中心に活躍されています。栄養士養成課程は、昭和45年に設置され今年で52年目を迎えました。栄養士養成課程の卒業生数は1,235名です。その後、平成21年度からは、現在の形である『食品栄養科』となり、栄養士養成教育をおこなっています。

食品栄養科の教育では、栄養士養成科目の他、本校の広い農場（田畑、ハウス、果樹園、牛舎など）を活かして、農作物（食材）の生産現場を理解し「食育」ができる栄養士の育成を目指しています。校内の広い敷地には様々な植物があり、春には筍掘りやヨモギ摘みを、日常の実習では季節の草花を料理のあしらいに使うことなどが本科の特徴としてあげられます。また、本校産のもち米を使用して餅つきを行うなど、学生と共に自然を楽しみながら調理や加工などの実習に取り組んでいます。食品栄養科の教職員は、私も含め農家出身者が多く、どの先生も収穫した農産物で料理を作ることには子どもの頃から日常で、この経験は教育にもつながっています。旬の食材を献立に取り入れること、旬の食材がとても美味しいこと、栄養士として給食を提供するまたは食事の支援をするにも食材を理解していることは強みと考えています。

【学生の様子】

茨城県内出身者が大半を占め、男子学生も二割程度在籍しています。また近年は、社会人経験のある入学生も増えています。大学卒業後に就職するも食生活の大切さを感じて栄養士を志した学生や、子育てが一段

落して就業を考えたときに栄養士であれば家庭での食事作りからの延長で日常生活にも役立つと考えた学生もおります。高校新卒から社会人経験者まで、様々な経歴を持つ学生が集いますが、目標は「2年間で栄養士資格を取得し、食事を介してたくさんの人を笑顔にできる社会人になる」ことは一致していますので、お互いに声をかけ良い影響を与え合いながら資格取得に向けた学習に取り組んでいます。



【栄養士養成で心がけていること】

卒業生の多くは、給食提供業務に就職しており、調理技術を持ち、衛生管理ができ、献立作成と帳簿管理ができる「現場に強い即戦力となる栄養士」を育てることが重要です。そのため教職員も日々、教育水準の向上を目指し教育・研究活動に取り組んでいます。学生には「食事でみんなを笑顔にする」ことがやりがいであると伝えるとともに、食事作りはチームワークが大切で「コミュニケーション能力」を高めることや、課題や疑問に思ったことを自ら解決する取り組みなどの指導を心がけています。

本校では、栄養士になるための学修は2年間と短くあっという間です。その中で学生たちは、日々努力を積み重ね、急速に成長していきます。私たち教職員は、その成長する姿を見るのがとても楽しみであり、やりがいです。栄養士資格を活かし長く社会貢献ができる栄養士を育てることが使命ですので、会員の皆さま方からも「栄養士の現場で必要な知識はこれ！」や「この点を理解することが重要！」などのご意見をいただければと思います。

【PR】

本校公式HPやインスタグラムで栄養士養成のトピックスや学生たちの様子をご覧いただけます。ぜひご確認ください。（文責：浅津 竜子）



私たちの職場紹介

= 公衆衛生編 =

茨城県土浦保健所

健康増進課 高橋 真菜 さん



保健所では、地域住民の生涯を通じての健康づくりを推進するため、各種事業を通し継続的な普及啓発と健康づくりへの取組を促すための環境整備・支援を行っています。各保健所には1～2名の管理栄養士が配置されており、事業を担っています。

私の仕事は、食育の推進、生活習慣病の発症・重症化予防等の健康増進に関する事業が中心です。

【食育推進事業】

県では、健康長寿日本一を目指すため、生活習慣病予防の一つとして減塩対策に注力しており、「いばらき美味しおスタイル」を推進しています。一般の飲食店等を「いばらき美味しおスタイル指定店」等として指定・登録を行うとともに、毎月20日を減塩の日「いばらき美味しおDay」と定め、その日を中心に減塩啓発活動を行っています。保健所でも普及啓発に努めており、昨年11月には「いばらき美味しおDay」の制定2周年にあわせて管内3施設の事業所給食施設に協力をいただき減塩イベントを実施しました。



<<いばらき美味しおDayイベントの様子>>

イベントでは、施設の管理栄養士が考案した減塩メニューを提供するとともに、美味しおスタイル紹介動画を放映しました。また、栄養相談コーナーを設け、日々の食生活のアドバイスを行いました。

加工食品や普段食べている料理に含まれている実際の食塩量を目にした参加者からは「こんなに塩が含まれているの?!」等の驚きの声がありました。また、「パンには食塩が含まれている」というような私たち管理栄養士が当たり前に思っていることでも知らない方が多く、基本的なことをお伝えするだけでも効果的だと感じました。

減塩は薄味でおいしくないというイメージがありますが、その印象を払拭するために“減塩はおいしくできる”ということを「いばらき美味しおスタイル」として広めていきたいと考えています。

<<美味しおスタイル紹介動画はこちら>>
QRコードを読み取ってください。



【特定給食施設等の指導】

管内の特定給食施設等に対し、個別指導及び集団指導を行っています。個別指導は管内の約200施設を4～5年に1回のペースで巡回しており、集団指導は例年1～2回程度実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため集団指導は動画配信としました。

各施設の方にとっては、保健所の巡回指導は負担と感じる方が多いのではないかと考えています。そのため、指導の際には他の施設での良い事例の紹介をする等、栄養士のつなぎ役となることを目指しています。



<<個別指導の様子>>

今後も知識と技術を向上させながら健康づくり事業を展開していきたいです。 (文責：高橋 真菜)

私たちの職場紹介

= 勤労者支援編 =

水戸ヤクルト販売株式会社
管理栄養士 鶴井 映見 さん

【会社概要】

弊社は、茨城県水戸市谷津町にある乳酸菌飲料ヤクルトとヤクルト化粧品の販売会社です。

予防医学の研究者「ヤクルトの創始者・代田稔博士」の思いを受け継ぎ、お客様・地域に必要とされる「健康」とは何かを提案し続けている企業であり、「お客様に寄り添い、健康寿命日本一の地域づくりに貢献すること」をミッションとしています。現在のカバーエリアは、茨城県の北は大子町から南は神栖市まで、西は旧岩瀬町に広がっており、現在約600名のヤクルトレディが活躍しています。



【おなか元気教室】

現在、弊社では管理栄養士2名体制でおなか元気教室を実施しています。おなか元気教室の対象は保育園・幼稚園児のお子様から高校生、そしてその保護者様です。主に小学校からの依頼が多く、家庭教育学級、学校保健委員会、親子学習会など様々な場面でご利用いただいております。お子様の〈健やかな成長と病気に負けない体づくり〉を応援するため《早寝・早起き・朝ごはん・毎日のうんち》を合言葉にし、腸管模型などを使用しながらわかりやすい授業を行っています。



また、事前に生活習慣に関するアンケートを行い、その結果と一緒に確認しながら話を進めていくので子供たちの参加意識も高くなります。教室に参加して下

さった保護者様からは「子供だけではなく自分も勉強になりました。」「お話を聞いてから早く寝てくれるようになりました。」など嬉しい声をたくさんいただいています。状況によってはzoomを使用したオンライン授業の対応も行っています。

【免疫ライフセミナー】

免疫ライフセミナーは、企業向けの講座です。

腸内環境のお話はもちろんですが、従業員の皆様の健康の悩みに合わせた話題も併せてお話しています。（睡眠やストレス、血圧やコレステロール等）

最近では、「健康経営」への注目が広がり、従業員の健康増進に取り組む企業が増えてきました。当セミナーは、おなか元気教室同様、管理栄養士2名体制で実施しています。（2名とも健康経営アドバイザーの資格取得）従業員のヘルスリテラシーを深めるためにも、多くの企業様にご利用していただきたいと考えております。ストレスフルな現代、個人個人が自分の生活習慣について見直す必要があります。そのきっかけづくりと普段の生活にお役立ちする情報を提供できるよう努めています。

【動画・SNSでの情報発信】

健康における〈腸〉の大切さを、より多くの方に知っていただくためにYouTubeとInstagramを開設しま

した。YouTubeでは、ヘルシーレシピの紹介動画やヤクルトの商品の特徴などをお伝えしています。動画は、撮影から編集まで全て自分たちで行っています。Instagramでは、自律神経の整え方や腸活にオススメの食品を紹介するなど主に腸に関連する健康情報を投稿しています。



Instagram



YouTube

【今後の目標】

現在、「健康経営エキスパートアドバイザー」の資格取得を目指しています。取得後は、より多くの企業様へ積極的に健康経営の考え方を広め、地域のみなさまの健康なカラダづくりに貢献したいです。健康寿命日本一の地域づくりに管理栄養士としてお役に立てるよう励んでいきます。（文責：鶴井 映見）

茨城県内の認定栄養ケア・ステーション

① 認定栄養ケア・ステーションやまぶき (水戸市)

住み慣れた地域で自分らしい生活が最後まで続けることができるように、栄養管理の必要性を医療・介護の共通の課題として捉え、市民のための健康づくりや家族介護における栄養と食事作りの相談支援を行っています。

② 認定栄養ケア・ステーション ねもと薬局 (那珂市)

認定栄養ケア・ステーションねもと薬局は、薬局・居宅介護支援事業所と同じ場所に開設しており、栄養の面だけではなく、薬剤・介護の面でも地域との関わりがあるため、幅広い目線で生活支援しております。また、毎月カフェを行うなど、イベントも多く開催しております。

③ おおみや認定栄養ケア・ステーション (常陸大宮市)

志村大宮病院、介護老人保健施設大宮フロイデハイムに隣接しており医療と介護に特化した栄養ケア・ステーションです。「食」を通して心と体の健康づくりに貢献していきたいと思っております。ひとりひとりのニーズに合わせて、地域の皆様が安心して食生活を送れるようサポートしていきます。

④ あけぼのファーマシーグループ 認定栄養ケア・ステーションはーとてらす (つくば市)

- 栄養相談
- 料理教室・栄養教室
- 栄養食事指導
(診療報酬・介護報酬に係る)



⑤ 県西在宅クリニック 認定栄養ケア・ステーション (古河市)

在宅訪問管理栄養士として活動する中で、もっと幅広く地域の栄養を支えていきたいという思いが強くなり、それを実現するため「管理栄養士・栄養士のいる場所」として認知していただくことから始めようと、開設に至りました。まずはできることからやっていきたいと思っています。

⑥ カスミ認定栄養ケア・ステーション (つくば市)

- 講師派遣
- 特定保健指導



⑦ 認定栄養ケア・ステーションそれーゆ (鉾田市)

地域での栄養講座や、スポーツ栄養セミナー開催の他、体組成測定器(InBody)を常設し、筋肉量・水分量・体脂肪量などのデータを活用したアスリートサポートにも力を入れています。機材は、持ち運びができますので、県内全域の企業様やチームの活動場所等へ出張測定することも可能です。

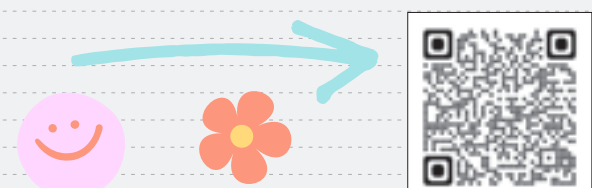
⑧ たかぎ歯科 認定栄養ケア・ステーションふらっと (土浦市)

「口から美味しく食べる」をモットーに、多彩な経歴のメンバー18名が在籍。各々の特技を生かし、乳幼児から高齢者、予防から医療・介護と幅広く活動しています。また仲間同士で、情報共有や業務サポートもしています。日々の活動はTwitter (@eiyoucsflat) をご覧ください。

⑨ 認定栄養ケア・ステーション クローバーダイニング (水戸市)

「住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けていきたい」そんな皆様の想いを胸に、一人ひとりのところに寄り添い、健康と豊かな食生活をサポートします。私たちは病院や福祉施設での経験を経て、生活習慣病予防や高齢期の栄養など、栄養講座や料理教室を行っています。お気軽にご相談ください。

認定栄養ケア・ステーション 詳細・お問い合わせはコチラから



研修会報告

第11回定時総会・研修会

ザ・ヒロサワシティ会館（県民文化センター）にて第11回定時総会（令和3年度事業報告、令和4年度事業計画等の議事）が開催されました。研修会では、群馬県済生会前橋病院栄養科係長 宮崎純一先生より「令和4年度診療報酬改定の概要について」ご講演頂きました。次に、筑波メディカルセンター病院小児科原 英輝先生より「食物アレルギーと栄養指導について」の説明がありました。食事と栄養は国民の健康維持、介護予防、国費軽減策として今後も大きな期待を背負っていきます。食と関わる他職種と連携し、体制を整えて、栄養士・管理栄養士の専門性を生かしていきたいところです。

また、食物アレルギーでは、幅広い知識と個別対応が必要になります。最新の情報を取り入れて、確実に対応したいですね。

新任研修会

茨城県保健衛生会館にて、28名（オンライン研修を含む）が受講しました。日本栄養士会下浦佳之専務理事の「専門職としての職業倫理について」の講演では、専門職としての重要性や役割、国民の現状と栄養に関する課題や責務を再確認しました。栄養士・管理栄養士は対象者のライフステージにおいて、食事や健康状態へ関与する重要な役割を担っています。日頃から職業倫理を意識し、責任をもって職務に臨みたいとの感想がありました。常磐大学人間科学部コミュニケーション学科の西澤弘行先生より、「コミュニケーションスキルの身につけ方」についてご講演頂きました。医療職は専門的な言葉を使用しがちですが、対象者に分かりやすく、丁寧に話すことが大切です。さらに、日清医療食品株式会社 蒲生健一郎様より「衛生管理と食中毒について」の講話がありました。大量調理給食施設における衛生管理は、栄養士・管理栄養士としての業務の中で基本となるものです。現場で活かすために、根拠に基づいた正しい情報をいつでもアウトプットできるよう日頃から確実な知識を定着させましょう。

生涯教育研修会

令和4年度生涯教育研修会は、7月25日から2週間オンデマンド配信として開催され、28名が受講されました。認定栄養ケア・ステーションふらっと 管理栄養士 峯山涼子先生より、「誰も知らない!?訪問栄養食事指導の期待と課題」、認定栄養ケア・ステーションやまぶき在宅訪問管理栄養士 櫻井栄子先生より、「在宅における看護と看取り期の食事について」、愛知学院大学心身科学部准教授 牧野日和先生より、「人生最終段階の食支援 お食い締め」について講話がありました。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供が必要となっていきます。食は生活の楽しみであり、活力の源でもあるので、今後、訪問栄養食事指導を行う栄養士・管理栄養士への期待が高まっていきます。訪問指導分野で活躍する人はまだまだ数が少なく、課題も多いので、同じ悩みを持つ管理栄養士間の連携、他職種との連携を活発にし、利用者やそのご家族の人生に寄り添っていきましょう。（文責：島田 亜紀美）

茨城県栄養士会 最新情報配信中!

茨城県栄養士会のSNSにて 研修会情報・最新情報は配信中!

- * ホームページ
<http://www.ibarakiken-eiyoushikai.or.jp>
- * LINE
「茨城県栄養士会」で検索
- * Twitter
「@ibaei_info」または「茨城県栄養士会」で検索

ゆたかな食文化のコーディネーターとして
さわやかな集団を目指します

業務用食材の総合商社
URUNO
ウルノ商事株式会社

<http://www.uruno.co.jp/>

水戸本店 茨城県水戸市元吉田町 1077-2 TEL 029-304-2555 FAX 029-304-2030
つくば支店 茨城県つくば市みどりの東 18-3 TEL 029-899-2006 FAX 029-899-2016
北関東支店 茨城県筑西市伊讃美 1937-1 TEL 0296-28-8020 FAX 0296-28-8022
東関東支店 千葉県富里市七栄 532-239 TEL 0476-91-2525 FAX 0476-92-2200
埼玉支店 埼玉県加須市北平野 770-1 TEL 0480-78-1321 FAX 0480-78-1322

連盟活動状況

令和4年度も、行動制限が無くなったとはいえ、通常活動には、なかなか至りませんでした。

そんななかで、7月には参議院議員選挙、12月には県議会議員の選挙がありました。

活動することが思うようにできないなか、各選挙は連盟にとって大事な機会です。

参議院議員選挙の時は、栄養士会推せん加藤候補の決起集会に、支部長と共に役員が出席致しました。その時、全国区の自見候補にも、お会いすることができ、栄養士連盟が応援している旨、お伝え致しました。なお後日、役員数人が加藤候補の事務所にも出向き、挨拶しております。

12月の県議会議員選挙の時は、それぞれの候補の集會に出席したり、事務所を訪問したりしております。微力ながら各候補には活動を認めてもらうことができたように思います。

今後も連盟は、栄養士会会員の地位向上のため、政治活動を展開していきます。それが連盟の大きな役割だと思っております。

皆様のご理解、ご協力どうぞよろしくお願いたします。(文責：田中 富美枝)

事務局長就任挨拶

令和4年7月に茨城県栄養士会事務局長を拝命いたしました。

かなり前になりますが、昭和62年から2年間、県衛生部の保健予防課に在籍していた頃を思い出しました。現連盟支部長の高橋征子さんもお一緒に、課に健康増進車(キッチンカー)も配備されており、懐かしく思い出されるとともに、不思議なご縁を感じます。

時代も変わり、栄養士・管理栄養士の役割や活躍の場なども広がってきています。

社会の変化に対応できるよう、微力ながら皆様と一緒に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。(文責：櫛田 浩司)

新入職員紹介

茨城県栄養士会事務局に、新しく藤 真利江さんが入職いたしました。

主にヘルシーメニュー、給食施設調理従事者研修会、栄養表示支援事業などを担当いたします。

どうぞよろしくお願いたします。

(文責：櫻井 ともみ)

賛助会員活動一覧

◎商品展示総会	17社
◎広告バナー	6社
◎広告掲載総会資料	4社
栄養茨城 (FLASH)	5社
◎広告チラシ	14社

編集後記

新型コロナウイルスの流行より3年が過ぎようとしています。当初は戦々恐々としていましたが社会のあり方や働き方にも変化が見られ嘆くばかりではなく厳しい状況でも前進し変化を受け入れたところに人間の強さを感じます。昨今では戦争の恐怖や世界的な食料危機に世相はシフトしてきており、私たちの生活や業務においても決して他人事にはできない大きな問題です。こんな時代だからこそ食べ物や栄養の大切さについて、専門職である私たちはもう一度考え、社会に発信していくべきなのでは無いでしょうか。栄養士が社会的に評価される中で、会員全員で一致団結し強固な職能団体として難しい時代を乗り越えられればと思っています。

(文責：益子 慎司)



「みんなと一緒に楽しく同じものを食べたい！」
そんな思いに答えたのが「2つのフレンズ」。
子供達の笑顔のために、アレルギー対応の「専用工場」よりお届けします。

Friends Sweets
Friends Meal
フレンズメール
お米deガトーショコラ
FMグラタン(国産かぼちゃ)

日東ベスト株式会社
本社 山形県寒河江市幸町4-27 電話0237(86)2100
営業本部 千葉県船橋市習志野4-7-1 電話047(477)2110
東京支店 千葉県船橋市習志野4-7-1 電話047(477)3181
E-mail: info@nitobest.co.jp http://www.nitobest.co.jp/